

政策評価調書（個別票①-1）

【政策ごとの予算額等】

政策名	市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る		評価方式	総合・実績・事業	番号	9-36
歳出予算額（千円）	20年度	21年度	22年度	23年度要求額		
（ 当 初 ）	707,288	655,647	897,129	868,800		
（ 補 正 後 ）	700,460	651,322				
前年度繰越額（千円）	0	0				
予備費使用額（千円）	0	0				
流用等増△減額（千円）	0					
歳出予算現額（千円）	700,460	651,322				
	<0>	<0>				
支出済歳出額（千円）	669,177	586,802				
翌年度繰越額（千円）	0	0				
不用額（千円）	31,283	64,520				
	<0>	<0>				
達成すべき目標及び 目標の達成度合いの 測定方法	個表②に記載					
政策評価結果を受けて 改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・建設統計については、建設工事統計調査の見直しに向けた検討、建築物ストック統計の年1回の公表を行う。 ・交通統計においては、既存統計について、統計利用者の視点に立った統計データの加工、提供等を含め、将来を見据えた新たな統計ニーズを図るため、統計調査の見直しを行う。 					
評価結果の予算要求等 への反映状況	評価結果を踏まえ、引き続き既存統計の実施に必要な経費を要求するとともに、既存統計の見直しに係る経費を要求した。					

政策評価調書（個別票①-2）

【政策に含まれる事項の整理】

政策名		市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る				番号	9-36		(千円)
		予 算 科 目						政策評価結果等 による見直し額	
整理番号	会計	組織/勘定	項	事項	22年度 当初予算額	23年度 要求額			
対応表において● となっているもの	A	1	一般	国土交通本省	国土交通統計調査費	国土交通統計に必要な経費	790,258	864,239	22,366
	A	2	一般	地方運輸局	地方運輸行政推進費	国土交通統計に必要な経費	106,871	4,561	
	小計						897,129 の内数	868,800 の内数	22,366
対応表において◆ となっているもの									
	小計						の内数	の内数	
対応表において○ となっているもの									
	小計						の内数	の内数	
対応表において◇ となっているもの									
	小計						の内数	の内数	
合計						897,129 の内数	868,800 の内数	22,366	

政策評価調書（個別票①-3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名		市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る				番号	9-36		
事務事業名	整理番号		予算額（千円）			見直し額（A） （B）+（C）-重複	うち政策評価 結果の反映に よる見直し額 （B）	うち執行状況 の反映による 見直し額 （C）	政策評価結果又は執行状況の要求への反映内容
			22年度 当初 予算額	23年度 要求額	増減				
国土交通統計	A	1	618,060	594,403	△ 23,657	22,366	22,366	22,366	予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、統計調査の内容の精査、業務の効率化などを行い、要求額に反映した。
合計						22,366	22,366	22,366	

政策評価調書（個別票②） （政策評価書要旨）

担当部局名：総合政策局情報政策本部情報安全・調査課
 担当者(連絡先)：金子賢一(28426)

評価実施時期：平成22年8月

<p>政策名</p>	<p>市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る</p>	<p>番号</p>	<p>9-36</p>																					
<p>政策の概要</p>	<p>現行統計の改廃や新規統計の創設、統計利用者の視点に立った統計データの加工、ホームページを通じた電子的な統計データの提供等を通じ、市場・産業関係の統計の体系的な提供を行うとともに、将来を見据えた新たな統計ニーズへの対応を図り、統計利用者の利便性の向上を図る。</p>																							
<p>政策に関する評価結果の概要と達成すべき目標等</p>	<p>【評価結果の概要】</p> <p>(総合的評価) 近年、政府統計に対して、ニーズに即した統計の一層の整備、結果利用の更なる拡大などの要請が高まってきており、これらの要請を具体化していくため、市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る施策目標の達成に向けて、統計調査の改善、インターネットによる収録ファイル数の増強等を行ってきた。今年度においては、業績指標（205）は、目標値を達成し、業績指標（206）については、収録ファイル数は、目標値に向け順調に推移しており、HP アクセス件数については、目標値を達成したことから、目標年度における施策目標の達成に向けて堅実に進捗していると評価できる。目標を達成したものについては、目標値の見直しを行い、今後も引き続き将来を見据えた新たな統計ニーズへの対応を図っていくこととする。</p> <p>(必要性) 近年、政府統計に対して、ニーズに即した統計の一層の整備、結果利用の更なる拡大などの要請が高まっている。そのため、現行統計の改廃や新規統計の創設、統計利用者の視点に立った統計データの加工、ホームページを通じた電子的な統計データの提供等を通じ、統計利用者の利便性の向上を図る施策は、市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る上で必要性が高い。</p> <p>(効率性) 平成20年度から開始された総務省の「政府統計の総合窓口（e-stat）」の本格運用に伴い、統計情報の提供方法の有効性及び効率性について検討し、e-stat等との連携・調整を行って来ており、こうした取組みを通じ、一体的な統計情報の提供に向けて、新たな統計ニーズへの対応とともに施策の効果的な展開を図りつつ、施策目標の達成に向け堅実に進捗していることから、本施策は効率的であると評価できる。</p> <p>(有効性) 市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図るため、統計調査の改善、インターネットによる収録ファイル数の増強等を行って来ており、業績指標（205）については、目標値を達成し、業績指標（206）についても、目標値に向け順調に推移（一部目標値を達成）している。施策目標の達成に向けて堅実に進捗していることから、これらの施策の有効性は高いと評価できる。</p> <p>(反映の方向性) 一体的な統計情報の提供に向けたe-stat等との連携等の検討 統計利用者の利便性向上に向けた統計調査の改善検討等</p> <p>【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】</p> <table border="1" data-bbox="414 1657 1244 1966"> <thead> <tr> <th rowspan="2">達成目標</th> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">基準値 (年度)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">目標値 (年度)</th> <th rowspan="2">達成目標・指標の設定根拠・考え方</th> </tr> <tr> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る</td> <td>統計調査の累積改善件数</td> <td>件</td> <td>1 18年度</td> <td>3 19年度までの累計</td> <td>6 20年度までの累計</td> <td>8 21年度までの累計</td> <td>11 23年度までの累計</td> <td>現行統計の改廃、統計利用者の視点に立った統計データの加工、提供等を含め、将来を見据えた新たな統計ニーズへの対応を図りつつ、報告者負担、調査実施に係る資源等の観点から、調査実施体制の改善や調査内容の改善等を行うことにより、統計利用者の利便性向上等を図る。 統計調査結果については、ホームページを通じ</td> </tr> </tbody> </table>			達成目標	指標名	単位	基準値 (年度)	実績値			目標値 (年度)	達成目標・指標の設定根拠・考え方	19年度	20年度	21年度	市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る	統計調査の累積改善件数	件	1 18年度	3 19年度までの累計	6 20年度までの累計	8 21年度までの累計	11 23年度までの累計	現行統計の改廃、統計利用者の視点に立った統計データの加工、提供等を含め、将来を見据えた新たな統計ニーズへの対応を図りつつ、報告者負担、調査実施に係る資源等の観点から、調査実施体制の改善や調査内容の改善等を行うことにより、統計利用者の利便性向上等を図る。 統計調査結果については、ホームページを通じ
達成目標	指標名	単位	基準値 (年度)					実績値					目標値 (年度)	達成目標・指標の設定根拠・考え方										
				19年度	20年度	21年度																		
市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る	統計調査の累積改善件数	件	1 18年度	3 19年度までの累計	6 20年度までの累計	8 21年度までの累計	11 23年度までの累計	現行統計の改廃、統計利用者の視点に立った統計データの加工、提供等を含め、将来を見据えた新たな統計ニーズへの対応を図りつつ、報告者負担、調査実施に係る資源等の観点から、調査実施体制の改善や調査内容の改善等を行うことにより、統計利用者の利便性向上等を図る。 統計調査結果については、ホームページを通じ																

別紙(13-4)

	統計の情報提供量、ホームページへのアクセス件数(①収録ファイル数、②H/Pアクセス件数)	件	約 5,000	約 5,300	約 6,400	約 7,000	約 9,200	<p>て電子的な形や刊行物により統計データを提供しており、収録ファイル数及びアクセス件数を把握することにより、より一層の調査結果の活用、利用拡大を図るための指標とする。また、ホームページに掲載する統計データについて、利用者の利便性を考慮した加工可能な形式での統計データの提供拡大を推進する。</p> <p>収録ファイル数については、html形式やpdf形式、xls形式等で毎年1,000ファイル程度の提供ファイルの充実を図ることを目標とする。アクセス件数については、提供ファイルの充実や、統計の正確性、信頼性の維持、定期的な公表等の効果を見込んで、平成18年度実績に基づき初期値から1割以上のアクセス数向上を図ることを目標とする。</p>
		18年度					22年度	
		件	約448,000	約453,000	約487,000	約513,000	約535,000	
		18年度					22年度	
関係する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)	施政方針演説等		年月日		記載事項(抜粋)			